

好いとお!

福津

Readers Voice
読者の広場

読者の声を中心に、みんなと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のリポートなどを掲載していければと考えています。皆さんの声をお寄せください。

街角 カメラリポート

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題を写真とともにお届けします。

100年ほど前で、敷地は約9万坪もあったそうです。現在は約3分の1が病院の敷地となっています。

福間病院の門は、薩摩藩の江戸屋敷から移設されたもので、文化財の専門家によると「薬医門」といって、御典医にしか設置が許されなかったものだそうです。御典医とは江戸時代に大名に仕えた医師のことです。偶然かもしれませんが、江戸時代に医療に携わった人の屋敷の門が、今は病院の門になっているのも不思議な縁を感じます。

堀三太郎がなぜ薩摩藩ゆかりの門を手に入れたのかは謎のままです。もしかしたら、薩摩藩出身の西郷隆盛の大ファンだったのかもしれない。この地に別荘を構えたのも、近くを流れる西郷川という名前が気に入ったのかも。歴史のロマンを感じさせてくれる福間病院の門。地域の大切な宝だと思っています。(S・Sさん/花見が浜/63歳)



▲重厚なつくりの門が歴史を感じさせます

広報10月号の感想 地域の「見守り」の 力に感動



高年齢者の見守りについての特集が良かったと思います。地域の「見守り」が救った命の記事を読み、とても感動しました。(M・Sさん/西福岡/49歳)

高齢者の孤立を防ぐために、市では市内の事業所とも連携を図っています。10月号では、セブン・イレブン福岡海岸通り店の見守り活動の事例を紹介しました。この事業所は市と「ひとり暮らしの高齢者等の見守りに関する協定」を結んでいます。事業所の日々の取り組みだけでなく、転倒し

た高齢女性がいることを店に通報した高校生や、店からの連絡を受けて、元気のない高齢男性の元に駆け付けた民生委員など、多くの人たちの連携によって命が救われたことを紹介しました。

これからも多くの人たちが協力し合い、誰もが安全・安心に住み続けられる福津になるよう願っています。

保・幼・小の「接続」は すばらしい

市内の保育所や幼稚園、認定こども園と小学校の「連携」から「接続」に重きを置いた取り組みは、子どもたちに寄り添った、すばらしい取り組みだと思います。

Worldさん/通り堂/ 65歳

いつもお便りありがとうございます。

市内にはさまざまな幼児教育・保育施設があります。これらの施設はそれぞれ特色ある保育や幼児教育を行っています。子どもたちが小学校へスムーズに入学できるように、共通のカリキュラムの作成などにも取り組んでいます。この取り組みはこれまでの各園・校単位の交流を中心とした「連携」から、より密接なつながりである「接続」という言葉で表しています。

この取り組みを通じて、子どもたちが生き生きと学びに向き合える環境がつけられていくことを期待しています。

ノーベル平和賞に思う

今年のノーベル平和賞はSDGs 17項目のひとつ「飢餓をゼロに」を目標とする国際連合世界食糧計画が受賞しました。私も以前、寄付したことがあり、とてもうれしく思いました。どこの国であっても人々の命は尊いものです。少しでも「世界のた

めに役に立ちたい」と考える人が増えることを祈っています。(Y・Hさん/津屋崎)

SDGsには飢餓や貧困、経済成長や気候変動など世界が抱えるさまざまな課題の解決が目標として掲げられています。これらの目標を達成するには、一人一人ができることから取り組んでいくことが大切だと思います。

お便り・投稿大募集

「好いとお!福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば29ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラリポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

パパ&ママのための「夫婦会議」 の始め方講座を開催しました

10月4日に「夫婦会議」の始め方講座を開催しました。講師には「Onitsuka株式会社 共同代表の長廣百合子さん・遙さん夫妻を招き、就学前の子どもを育てるパパやママ、先々の結婚や子育てを見据えた人など9人が参加しました。講座では、離婚などの危機に直面した講師自身の経験や、調査に基づく事例を交えながら説明。夫婦間の家庭と仕事の両立を巡る問題や、産後に起こる夫婦間の愛情低下など、妊娠・産後・育児期に夫婦間ですれ違いが生じやすくなる

といった話がありました。

カップルから夫、妻という関係に変化する新婚の時期はもちろん、父、母という「親としての役割」が加わる妊娠・産後・育児期に大切なことを前向きに話し合い、互いに協力し合える夫婦関係を築くことが大切です。そこで、夫婦の協力体制を育む「夫婦会議」を始める準備として「夫婦で子育て」を実践する上で大切な考え方、行動、対話の手法を紹介しました。

「夫婦会議」とは、パートナーと、より良い未来に向けて「対話」を重ね、行動を決める場のことです。より良い「夫婦会議」を始めるために

は価値観の違いを受け止めることや「迷惑を掛けたくない」と遠慮したり「夫婦だから言わなくても分かるはず」と過信したりせず、感情や考えを言葉に表して伝え合うことが大切とのことでした。

「夫と一度、話す場を設けて、お互いの思いや隔たりを擦り合わせないといけない」と、講座での学びを家庭で生かそうという声から参加者から上がっていました。

市では講座の開催などを通じて、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲「夫婦の対話を重ねることが大切」と説く長廣夫妻